



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

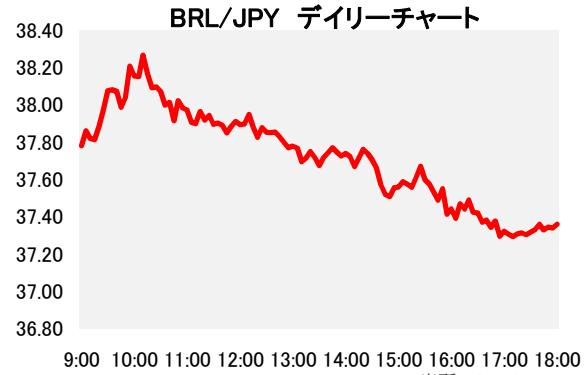
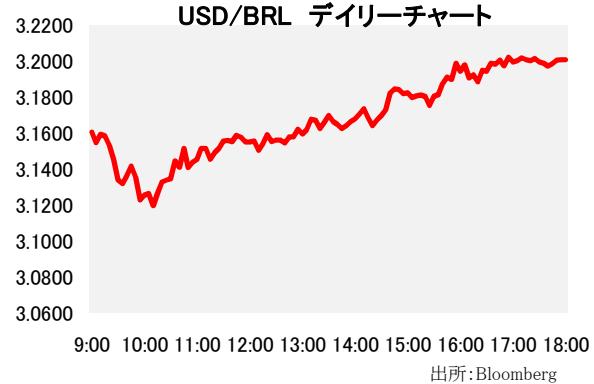
1. マーケット・レート

			3月19日	3月20日	3月23日	3月24日	3月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2920	3.2310	3.1320	3.1400	3.2010	+0.0610
	BRL/JPY	Spot	36.72	37.15	38.21	38.17	37.36	-0.81
	EUR/USD	Spot	1.0658	1.0820	1.0947	1.0923	1.0970	+0.0047
	USD/JPY	Spot	120.81	120.03	119.72	119.74	119.49	-0.25
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	13.537 13.755	13.473 13.690	13.425 13.615	13.395 13.587	13.175 13.565	-0.220 -0.021
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.281 3.076	2.283 2.998	2.294 3.022	2.267 2.956	2.335 2.997	+0.068 +0.041
株式	Bovespa指数		50,954	51,967	51,908	51,506	51,858	352
CDS	CDS Brazil 5y		303.49	295.62	287.96	279.86	288.00	+8.14
商品	CRB指数		210.991	214.109	215.755	215.531	217.157	+1.63

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV消費者信頼感	--	82.9	85.4
個人ローン・デフォルト率	5.5%	5.4%	5.3%
融資残高	--	3026B	3013B
ローン残高(前月比)	--	0.5%	-0.2%
(独)IFO企業景況感指数	107.3	107.9	106.8
(米)MBA住宅ローン申請件数	--	9.5%	-3.9%
(米)耐久財受注(前月比)	0.2%	-1.4%	2.0%



3. 要人コメント

ブラジル中銀	為替介入プログラムを今月末をもって終了する。既存ポジションのロールオーバーは継続して行く。
--------	-----------------------------------------------

4. トピックス

- 本日のドルレアルは3.1440で寄り付いた。昨日引け後に伯中銀が声明を出し、為替介入プログラムを3月末で終了することを発表した。しかし、既存のポジションのロールオーバーは継続して行くことが示されたため、マーケットには大きなインパクトはなかった。本日オープン後は短期筋の利食いが出てレアルは高値となる3.1170まで上昇した。2月の米耐久財受注が予想外に落ち込んだことを受けて米国株式が軟調推移すると、新興国通貨に売りが見られ、利食い一巡後はレアルもジリ安となった。引けにかけて安値となる3.2030を示現し、3.2010でクローズした。
- ECBがギリシャの銀行向けの緊急流動性支援の上限を710億ユーロに引き上げたとの報道を受けて、ユーロは堅調に推移した。独IFO企業景況感指数が予想を上回ったこともユーロの支援材料となった。ユーロは1.10を上抜けた後、1.09台後半での揉み合いとなった。
- 原油価格は上昇し、WTIの直近限月ものは一時1バレル49.46と、2週間ぶりの高値をつけた。EIA発表の週間石油統計では、原油在庫が11週連続で増加しており、原油価格の再下落を懸念する声が強い。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。